

学校関係者評価

※ 評価Ⅲの基準

4:よく取り組んでおり、成果が大きい
2:取り組んでいるが成果が十分でない

3:熱心に取り組んでおり、今後が期待できる
1:取組が不十分である

学校関係者意見等	評価Ⅲ
<p>1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力の育成と健やかな体づくりに取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上に向けて、多方面からの取り組みがなされている。学習が苦手な児童も取り残さずに学校全体で取り組んでいる。また、学力をつけ、それを社会で通用する力、校で王できるような内容は、重要であり評価できる。 ・「下小スタンダード」の取り組みがたいへんよい。 ・校庭で児童が大きな声で体を動かしている。しっかり外遊びをすることにより、体力向上とコロナ感染予防ができています。 ・コロナ禍ではあるが、先生方が工夫を凝らして努力している。 ・コロナ禍での体力作りは気を使うと思うが、子どもたちのストレスもなく、「できるだけいつも通り」の取り組みがなされている。 ・ICTの活用に期待している。 	3.6
<p>2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な価値観を持っている人に対する理解が深まるカリキュラムが組まれている。人権や心の教育は難しいが、低学年から取り組むことにより偏見をなくし正しい理解ができるのがよい。ゲストティーチャーを招くことも効果的である。 ・多様性の理解、人権意識の育成の取り組みがたいへんよい。 ・ICTに頼りすぎず心の教育を進めてほしい。児童どうしの心のつながりを強めてほしい。 ・下小の子どもたちは、明るく素直でさりげなく友達を助ける優しさを持てる子が多い。 ・LGBTは難しいテーマだが、専門の方をよんで学習することはとてもよい。保護者にもぜひ参加してもらい、子どもたちと共有できるとよい。 ・不登校児童への学習環境の確保をしてほしい。 	3.4
<p>3 家庭・地域・学校の連携を深め、活気に満ちた学校園づくりに取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携で子どもたちが地域や学校に愛着が持てる取り組みはよい。ゲストティーチャーを招くことで、学ぶ内容が多岐にわたり様々な体験や経験を通じてさらに子どもたちの意欲が高められ素晴らしい。 ・地域力を上手に活用している。 ・地域の大人を巻き込み、子どもたちの好奇心が大いに刺激されている。 ・近松記念館にも積極的に訪れておりよい。 ・下小を重要文化財にする勢いで古さを強みにしていってほしい。 ・コロナ禍で学校との連携が100%取り組めず申し訳ないが、家庭・地域・学校の関係は大変良好だと思う。 	3.6
<p>4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年4回の訓練ができていたことは評価できる。 ・いろいろな災害を想定した訓練がされている。 ・校内・地域での安全、命を守る訓練に今後も期待する。 ・最近は大きな災害が起こるので、方法を変える必要がある。 ・休み時間など、先生がいないときの行動のための訓練も必要。 ・引き渡し訓練や保護者との連携、自宅に帰ってからのアプローチなどにも力を入れてほしい。 ・校舎の老朽化による危険箇所は、ぜひ改善してほしい。 ・教職員は校内の整備に熱心に取り組んでいるが、施設が古いため、環境保全に限界があると感じる。 ・古いトイレを改修してほしい。 ・運動場の整備をしてほしい。 	2.7
<p>■教育目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの学年での取組が地道ながらしっかり取り組まれている。 ・頑張りたいことをがんばれる子になってほしい。 ・すべての活動がつながっている。生きる力のある子は思いやりを持って他人の立場になって考えられる子だと思う。 ・あまっこステップアップの結果については残念な部分もあるが、しっかり基礎基本を定着させてほしい。 	3.4
<p>■研究テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生たちのブラッシュアップやフィードバックする場があることはよい。 ・近松学習を今後も継続し、発展させてほしい。 ・子どもたちの伸びる芽を刺激する取り組みを期待する。 	3.8
<p>評価項目 (A:優れている B:適切である C:おおむね適切である D:要改善)</p>	評価Ⅳ
アンケート等、自己評価の根拠となる資料は適切か	A
自己評価の結果の内容は適切か	B
自己評価の結果を踏まえた今後の改善策は適切か	B